

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号	0266			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	後期:1		
教科書/教材	インターンシップ先の指示による						
担当教員	神田 和也						
到達目標							
就業体験学習あるいは異文化交流体験学習を通じて実務上の課題を見つけ出すことができる。そして、関係する人々とコミュニケーションをとりながら、その解決策を提示できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	体験学習に積極的に取り組み、課題を見つけ、複数の解決策を提示することができる。			体験学習に積極的に取り組み、課題を見つけ、ひとつの解決策を提示することができる。		積極的に取り組めず、課題を見つけることができない。	
評価項目2	発表会および報告書で実習内容を論理的に説明でき、質疑にも明瞭に応答できる。			発表会および報告書で実習内容をわかりやすく説明できる。		発表会および報告書で実習内容をわかりやすく説明できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	企業または教育機関等において、30時間（1週間）以上の就業体験学習を通じて、学校で学ぶことができない実務上の課題や職場での規則、また、実務的課題を通じて問題解決能力やコミュニケーション能力を身につける。						
授業の進め方・方法	就業体験学習30時間を1単位とする。 実習先担当者による評価40%、実習報告会評価60%として総合評価する。 60点以上を合格とする。評価方法の詳細は、科目評価表（2）を参照のこと。企業以外でのインターンシップの評価方法は、企業の場合に準じて行う。						
注意点							
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	報告書	合計
総合評価割合	0	0	60	0	0	40	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	60	0	0	40	100